2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	小児看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	20 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	203.204
担 当 教 員	藤澤眞由美	実務経験とその関連資格	看護師・・・ 総合病院病棟勤務、小児救急外来で勤務。 看護教員・・・ 5年一貫看護学校教員、,看護短期大学非常勤			

《科目目標》

科目目標:
①子どもを発達していく存在としてとらえ、子どもが社会の中で健やかに成長・発達を遂げる権利を理解する。
②子どもと家族の健康な生活への支援のための基礎的知識を理解する。
③変化する社会の中で子どもをめぐる問題や健康障害のある子どもの看護、健康レベル別の看護を理解する。

《成績評価の方法と基準》

【評価方法】終講試験(50%)、課題(提出・内容)・授業態度(15%)で総合的に評価する。
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満する。【担当配点】藤澤:65点

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシンググラフィカ　小児看護学①小児の発達と看護、中野綾美編、メディカ出版
【参考書】
ナーシンググラフィカ　小児看護学②看護技術、中野綾美編、メディカ出版
ナーシンググラフィカ　小児看護学③小児の疾患と看護、中村友彦編、メディカ出版

《授業外における学習方法》

1)教科書を事前に読み、子どもに対してのイメージを深めて臨む。
2)課題の実施、教科書を中心にしっかり調べ、学習して臨む。
3)学習した内容を毎回、復習すること

《履修に当たっての留意点》

1)成人、老年に引き続き、小児の成長発達を学ぶ中で、人の一生を点ではなく線(道)としてとらえましょう。
2)授業での課題は点数化するので提出期日をしっかり守りましょう。
3)意見交換やグループワークなど活発に自分の思いや考えを発表してください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 小児看護の対象、目的と看護師の役割を理解する 2. 小児医療、看護の変遷と課題、あり方について理解する 3. 子どもの権利条約の特徴をふまえ、子どもの生活や取り巻く医療の課題を述べることができる	教科書p.12～30 参考資料	子どもに対するイメージができるよう、子どもの様子を観察した内容をレポート作成し、提出する。
		各コマにおける授業予定	小児看護学で用いられる概念と理論① ・小児看護とは ・小児看護の歴史と意義 ・子どもの権利と看護		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 子どもを取り巻く社会環境や母子保健指標と子育ての環境を理解する 2. 子どもと家族を支援する法律と施策について理解する	教科書p.33～p.52 参考資料	統計については、老年・成人看護学概論の内容も振り返りと小児の特性についてレポート作成し提出する。
		各コマにおける授業予定	小児看護学で用いられる概念と理論② ・小児看護と法律・施策		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 小児看護の中で用いられる理論を理解する 2. 家族とは何か、家族発達理論を活用して子どもと家族の状況を理解する	教科書p.57～68 参考資料	成人や老年看護学で用いられる理論を振り返り、違いについてレポートし提出する。
		各コマにおける授業予定	小児看護学で用いられる概念と理論③ ・小児看護で用いられる理論		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 子どもの成長・発達過程を知ることの重要性を理解する 2. 乳児期の子どもと家族の成長・発達の特徴、課題、看護について理解する	教科書p.76～p.89 参考資料	成長発達の一覧表を各段階ごとに作成する。
		各コマにおける授業予定	子どもの成長・発達と看護① ・成長・発達の原則 ・乳幼児の子どもの成長・発達と看護		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 幼児期の子どもと家族の成長・発達の特徴、課題、看護について理解する	教科書p.99～131 参考資料	成長発達の一覧表を各段階ごとに作成する。
		各コマにおける授業予定	子どもの成長・発達と看護② ・幼児期の子どもの成長・発達と看護		
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 学童期の子どもと家族の成長・発達の特徴、課題、看護について理解する	教科書p.134～147 参考資料	成長発達の一覧表を各段階ごとに作成し、作成する。
		各コマにおける授業予定	子どもの成長・発達と看護③ ・学童期の子どもの成長・発達と看護		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 思春期の人々と家族の成長・発達の特徴、課題、看護について理解する 2. 子どもに適した発育評価の必要性と方法、選択について理解する	教科書p.150～172 参考資料	成長発達の一覧表を各段階ごとに作成し、各段階をまとめて提出する。
		各コマにおける授業予定	子どもの成長・発達と看護④ ・思春期の人々の成長・発達と看護 ・発育の評価		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1. 検査処置を受ける子どもの安全や安楽への援助を理解する 2. 手術を受ける子どもの特徴と術前術後の支援を理解する	教科書p.249～269 参考資料	事例の動画を視聴し、子どもの成長発達をふまえた、看護の工夫を考える。
		各コマにおける授業予定	健康障害をもつ子ども・家族への看護⑤ ・検査や処置を受ける子どもと家族への看護 ・手術を受ける子どもと家族への看護		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1. 災害を受けた子どもの心と体への影響と看護について理解する 2. 虐待の定義と実際、子どもへ与える影響と支援方法について理解する	教科書p.287～300 参考資料	災害が子どもの心身に及ぼす影響を考える　児童虐待に関するニュースを調べ、レポートにまとめ提出する。
		各コマにおける授業予定	健康障害をもつ子ども・家族への看護⑦ ・災害を受けた子どもと家族への看護 ・被虐待児（虐待を受けている可能性のある子ども）と家族への看護		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		